

中央大学

昨年度の入学選抜における方針を引き継ぎ、学力の3要素を評価するための多様な選抜制度を設ける中央大学。社会の課題を自らの課題として捉え、「行動する知性。」をもってこれを解決することで、社会に貢献する意欲のある学生を広く受け入れている。

一般選抜では、「基礎力」「総合力」を重視

一般選抜は「6学部共通選抜」「学部別選抜」「大学入学共通テスト利用選抜(単独方式)」により実施する。なお、「学部別選抜」には「一般方式」「英語外部試験利用方式」「大学入学共通テスト併用方式」の3方式が設定されている。各学部によって実施する選抜方式が異なるため、入学試験の詳細は「CHUO UNIVERSITY GUIDE BOOK 2023」を要確認。

また、学力の3要素の再定義の観点から「思考力・判断力・表現力」の判定が注目されているが、中央大学は「知識・技能」を確実に身に付けたいという「思考力・判断力・表現力」が重要であると考えている。これまで大切にしてきたアドミッション・ポリシーに沿って、これらの能力を適切に判定できる出題に努める方針だ。

総合型選抜の「高大接続入学試験」で

全国からの応募がより容易に

総合型選抜については、高大接続や各学部に見合った個性を持つ学生を受け入れる観点から、大きな見直しを図ってきた。例えば、2020年度には経済学部で「高大接続入学試験」を、理工学部で「高大接続型自己推薦入学試験」を先行して導入。2021年度は法学部が「チャレンジ入試」、文学部が「自己推薦特別入学試験」を新設している。

経済学部の「高大接続入学試験」の出願資格については、経済学部が開設する「経済入門」の授業を科目等履修生として履修し、B

以上の成績を修めた者が含まれるが、この授業への参加がリモートでも可能となっているため、首都圏に限らず全国の受験生に出願のチャンスが広がっている。なお、授業では経済学への興味関心度や理解度をひとつの基準として評価する。今後も全国の受験生がこうした総合型選抜に応募できるよう、他学部においても同様の選抜方式を検討していく方針だ。

入学前教育に意欲ある学生を求める

学校推薦型選抜

学校推薦型選抜における指定校選定基準は各学部のアドミッション・ポリシーによって異なるが、基本的には基礎学力を十分に身に付ける教育を行う高等学校であることを軸とする。一方で、特徴的な教育活動を展開する高等学校の動向にも注目している。

また、学校推薦型選抜は年内に進学先が確定することから、大学入学後を見据えた事前学習に意欲のある学生を期待する。

2023年度、法学部が

茗荷谷キャンパス(新設)に移転

この移転により、法科大学院と連携した法曹教育のさらなる充実や、近隣に所在する理工学部・国際情報学部と共同での文理融合教育の実践を目指す。さらに、卒業生の幅広いネットワークを活かし、法曹界や企業の第一線で活躍する実務家を招いた講義を積極的に展開していく方針。

INFORMATION

オープンキャンパス

7/30・31
SAT SUN

※事前予約制・人数制限あり
詳細は下記公式Webサイトを
ご確認ください。

中央大学受験生ナビ
Connect Web



入学センター
事務部 部長
大谷 文男

期待する受験生像

中央大学の入学試験では、多様な選抜方式を設けています。一般選抜では高等学校の学習指導要領に準拠し、しっかりした「基礎力」と「総合力」を築いた受験生を評価する方針を継続します。一方、各学部が実施する特色ある総合型選抜では、自身が磨いてきた個性や魅力を遺憾なく発揮して欲しいと思います。中央大学は創立以来、実学を重視し多彩な教育プログラムを展開しています。入学後は主体性をもって学問に取り組み、豊かな感性とコミュニケーション能力を磨くことで、国際社会に貢献できるような成長をかなえて欲しいと思います。